

第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 医療機関名：医療法人社団愛友会 伊奈病院
- 2 所在地（開設予定地）：北足立郡伊奈町小室宮寺 5014 番 1
- 3 整備する病床の機能・数

【変更後】 整備計画病床 30 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	地域包括ケア入院医療管理料	30
計	—	—	—	

*回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

【変更前】 整備計画病床 30 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	地域包括ケア入院医療管理料	30
計	—	—	—	

見直しに当たっての考え方、変更後病床数の根拠

(※客観的データを用いた根拠(例：受入患者数×平均在院日数÷365)を記載してください。)

○ポストアキュート件数 受入 270 件×平均在院日数 26 日÷365=19.2
 受入(内訳) 2018 年度の受入件数+断り件数+当院から上尾中央総合病院に紹介入院した数
 平均在院日数=2018 年度ポストアキュート対象患者平均在院日数

○サブアキュート件数 受入 147 件×平均在院日数 23 日÷365=9.3
 受入(内訳) 2018 年度の診療所・施設等からの受入件数+断り件数
 平均在院日数=2018 年度のサブアキュート平均在院日数

ポストアキュートの 19.2 日(床)とサブアキュートの 9.3 日(床)で 28.5 日(床)以上から、30 床の増床が必要と考える。

4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	2020年（平成32年）12月
2	建築（着工）	2021年（平成33年）3月
3	建築（竣工）	2022年（平成34年）5月
4	医療従事者の確保	2022年（平成34年）4月
5	使用許可（医療法）	2022年（平成34年）6月
6	開設（増床）	2022年（平成34年）7月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

- ▶上尾中央総合病院等で急性期治療を終えた後の入院治療および在宅復帰に向けた支援
- ▶二次救急病院としての救急車の受入および近隣クリニックからの紹介患者受入
- ▶疾病予防のための保健予防活動

上尾中央総合病院やその他の急性期病院の入院患者で、急性期を脱した患者の早期受入を積極的に行ない、県央医療圏における地域完結型医療実現に向け、上尾中央総合病院をはじめとする急性期病床の渋滞解消に寄与する役割を担うための整備をする。

また、紹介、救急などによる地域の急性期患者を受け入れ、当院で対応可能な急性期治療を行なう。受け入れた患者が、当院での治療が困難な症例の場合は、上尾中央総合病院への転院などで対応する。

○新たに担う役割

県央医療圏における地域完結型医療の実現には、当院が地域の急性期基幹病院である上尾中央総合病院からのポストアキュート受入機能を充実していく必要がある。また、近隣クリニックからの紹介患者受入や救急車の受入についても大きな改善が必要であり、これら地域のニーズに応えられる診療体制の整備を行なう。特にポストアキュート機能、サブアキュート機能を向上させるために内科、脳神経外科の強化を進めることに加え、地域連携担当者として新たに看護師の配置を行なっていく。

あわせて、こうして受入れた患者が、早期の在宅復帰を果たすために各職種による在宅復帰支援と在宅復帰後の支援までを行なうシステムを構築し、必要に応じて地域の医療機関や介護関連事業所へつないでいく役割を担う。

○将来の方向性

これを実現するための診療体制の整備に加え、新病院の建築、増床などハード面の整備を行ない、地域のニーズにしっかりと応えていくことで、近隣医療機関からの信頼を回復し、より良好な医療・介護連携を構築しなければならない。これまで行ってきた診療に加え、ポストアキュートおよびサブアキュート機能を十分に発揮し、地域住民はもとより、

近隣医療機関からも必要とされる病院を目指していく。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

ポストアキュート受入について、現状は常時満床の療養病棟における受入が主であるため、受入までの待機期間が生じてしまっている。早期受入および受入拡大のために地域包括ケア病床の増床が必要で、承認いただければ問題解決に向け大きく前進できるものと見込んでいる。

紹介患者や救急車の受入について、通常診療時間内において、内科、整形外科、外科・脳神経外科という3グループで救急・紹介を受ける当番制を敷いているが、体制が薄いため、依頼が重なるときなどに対応できず、断りに繋がってしまう。また、手術室が高稼働、内視鏡室が1室であり、緊急手術や緊急内視鏡を要することが想定される依頼に応えることが困難なケースも多い。医師、看護師の補充による診療体制の整備とハード面の充実によって受入状況の大幅な改善を図る。

訪問診察を行なっている診療所からの入院依頼のうち、特にレスパイトなど積極的治療を要さないケースは、急性期一般病棟に向かないため、地域包括ケア病床または療養病棟での受入となるが、常時満床であるためにほぼ受入はできていない。地域包括ケア病床の増床により受入状況を改善していくことが可能になる。

新病院建築、増床によってハード面の問題をクリアするだけでなく、医師、看護師等の採用においてもプラス要因となるため、これらを解消し、受入状況の大幅な改善ができると見込んでいる。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3D病棟（仮称）	30床	回復期		
	一般	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料	
診療科 内科、脳神経外科、整形外科、外科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】		【増床後】		
○ポストアキュート受入 年間 44 件		○ポストアキュート受入 年間 270 件		
上尾中央総合病院 20 件		上尾中央総合病院 242 件		
その他 24 件		その他 28 件		
(内訳)				
自治医科大学さいたま医療センター5 件		上尾中央総合病院 内訳		
さいたま赤十字病院 3 件		前年受入件数 20 件		
新久喜総合病院 2 件		前年断り件数 4 件		
しらすきクリニックハートセンター2 件		紹介入院 218 件※ 計 242 件		
埼玉県立がんセンター2 件		※218 件は、2018 年度、高次治療が 必要と判断し当院から上尾中央総 合病院に紹介した入院数。紹介し た患者の急性期治療が終了した段 階で、当院で受入する。		
白岡中央総合病院 2 件				
東埼玉病院 2 件		その他 内訳		
埼玉医科大学総合医療センター1 件		上尾中央総合病院以外の病院の 2018 年度受入件数と断り件数を合 算した件数 計 28 件		
彩の国東大宮メディカルセンター1 件				
秋葉病院 1 件				
寿康会病院 1 件				
西大宮病院 1 件				
茨城西南医療センター1 件				
お断り件数 年間 8 件（内訳）		上尾中央総合病院＋その他で算出 （件数×在院日数）＝延日数 270 件×26 日 ＝ 7,020 日		
上尾中央総合病院 4 件				
さいたま赤十字病院 1 件				
自治医科大学附属病院 1 件				
東埼玉病院 1 件				
東大病院 1 件				
○サブアキュート受入 年間 99 件		○ サブアキュート受入 年間 147 件		
<診療所（自宅）70 件>		診療所（自宅） 108 件		
尾崎内科クリニック 18 件		施設 39 件		
みやうち内科・消化器内科クリニック 6 件				
内田クリニック 5 件				

<p>上尾ニツ宮クリニック 4 件 石くぼ医院 3 件 ひかりクリニック 3 件 金崎内科医院 3 件 今成医院 3 件 東整形外科 2 件 みなみのメディカルクリニック 2 件 田口医院 2 件 上尾アーバンクリニック 2 件 白岡ファミリークリニック 2 件 上尾メディカルクリニック 2 件 木村クリニック 1 件 蓮田西口さくら内科クリニック 1 件 吉村胃腸科クリニック 1 件 江口医院 1 件 なごみ診療所 1 件 伊奈クリニック 1 件 さくらこどもおとな診療所 1 件 たけうちクリニック 1 件 林田内科医院 1 件 榎本クリニック 1 件 あまのメディカルクリニック 1 件 佐々木医院 1 件 伊奈の里 1 件</p> <p><施設 29 件> 一心館 20 件 葵の園桶川 7 件 あげお愛友の里 1 件 エルサ上尾 1 件</p> <p>お断り件数 年間 48 件 (内訳) <診療所 (自宅) 38 件> 伊奈の里 4 件 尾崎内科医院 4 件 内田クリニック 2 件 今成医院 2 件 清水内科医院 1 件 吉岡医院 1 件</p>	<p>前年のサブアキュートの受入と断りを合算し算出</p> <p>(件数×在院日数) = 延日数 147 件×23 日 = 3,381 日</p> <p>(ポストアキュート+サブアキュート) 7,020 件+3,381 件 = 10,401 件</p> <p>1 日のベッド数 10,401 件÷365 日 = 28.5 日</p>
--	---

<p>牛山医院 1 件</p> <p>金崎内科医院 1 件</p> <p>鈴木胃腸科クリニック 1 件</p> <p>ふじくら医院 1 件</p> <p>なかた呼吸器内科クリニック 1 件</p> <p>たまき整形外科 1 件</p> <p>藤田診療所 1 件</p> <p>伊奈クリニック 1 件</p> <p>みやうち内科消化器内科クリニック 1 件</p> <p>上尾アーバンクリニック 1 件</p> <p>田口医院 1 件</p> <p>伊奈クリニック 1 件</p> <p>上尾ニツ宮クリニック 1 件</p> <p>ながくら医院 1 件</p> <p>田口医院 1 件</p> <p>桶川西口クリニック 1 件</p> <p>上尾胃腸科クリニック 1 件</p> <p>島町花の木の里 1 件</p> <p>なごみ伊奈 1 件</p> <p>こころの杜 1 件</p> <p>吾亦紅 1 件</p> <p>上尾ほほえみの森 1 件</p> <p>みんなの家大宮 1 件</p> <p>アイエリア北上尾 1 件</p> <p><施設 10 件></p> <p>葵の園桶川 5 件</p> <p>一心館 4 件</p> <p>岩槻ライトケア 1 件</p>	
<p>医療（介護）連携見込み</p> <p>（※具体的に記入してください。）</p>	
<p>【増床前】</p> <p>○紹介元：</p> <p>上尾中央総合病院、埼玉医科大学総合医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、彩の国東大宮メディカルセンター、新久喜総合病院、埼玉県立がんセンター、北里大学メディカルセンター</p>	<p>【増床後】</p> <p>○紹介元：</p> <p>上尾中央総合病院、埼玉医科大学総合医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、彩の国東大宮メディカルセンター、新久喜総合病院、埼玉県立がんセンター、北里大学メディカルセンター</p>

内田クリニック、あまのメディカルクリニック、尾崎内科クリニック、上尾ニツ宮クリニック、石くぼ医院、林田内科医院、上尾メディカルクリニック、今成医院、世沢整形外科、木村クリニック、金崎内科医院、伊奈e n tクリニック
一心館、葵の園桶川、あげお愛友の里、蓮田ナーシング翔裕園

○紹介先：

一心館、グッドタイムリビング蓮田、エポワール岩槻、あずみの苑上尾、ケアサポート上尾、上尾ニツ宮クリニック、伊奈クリニック、たけうちクリニック、内田クリニック、あまのメディカルクリニック、尾崎内科クリニック、上尾ニツ宮クリニック、石くぼ医院、林田内科医院、上尾メディカルクリニック、今成医院、世沢整形外科、木村クリニック、金崎内科医院、伊奈e n tクリニック、
あげお愛友の里、居宅介護支援事業所ささえ、居宅介護支援事業所みちみち伊奈、居宅介護事業所ゆめこうぼう虹、居宅介護支援事業所ふくろうの杜、居宅介護支援事業蓮田園、けあビジョン蓮田、伊奈町社会福祉協議会、ケアプランすまいる、ライフサポート若桜、指定居宅介護支援事業所吾亦紅、ウェルフェアプランニング居宅介護支援事業所、ケアプラン伊奈の里、あずみ苑伊奈、白岡ファミリークリニック、あげお在宅医療クリニック、わしのみや訪問看護ステーション、訪問看護リハビリステーションひまわり伊奈、桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーション、訪問看護ステーションみやび、コスモ訪問看護リハビリステーション蓮田

内田クリニック、あまのメディカルクリニック、尾崎内科クリニック、上尾ニツ宮クリニック、石くぼ医院、林田内科医院、上尾メディカルクリニック、今成医院、世沢整形外科、木村クリニック、金崎内科医院、伊奈e n tクリニック
一心館、葵の園桶川、あげお愛友の里、蓮田ナーシング翔裕園、こころの杜、特別養護老人ホームひので、みちみち伊奈中央、伊奈の里

○紹介先：

一心館、グッドタイムリビング蓮田、エポワール岩槻、あずみの苑上尾、ケアサポート上尾、上尾ニツ宮クリニック、伊奈クリニック、たけうちクリニック、内田クリニック、あまのメディカルクリニック、尾崎内科クリニック、上尾ニツ宮クリニック、石くぼ医院、林田内科医院、上尾メディカルクリニック、今成医院、世沢整形外科、木村クリニック、金崎内科医院、伊奈e n tクリニック、
あげお愛友の里、居宅介護支援事業所ささえ、居宅介護支援事業所みちみち伊奈、居宅介護事業所ゆめこうぼう虹、居宅介護支援事業所ふくろうの杜、居宅介護支援事業蓮田園、けあビジョン蓮田、伊奈町社会福祉協議会、ケアプランすまいる、ライフサポート若桜、指定居宅介護支援事業所吾亦紅、ウェルフェアプランニング居宅介護支援事業所、ケアプラン伊奈の里、あずみ苑伊奈、白岡ファミリークリニック、あげお在宅医療クリニック、わしのみや訪問看護ステーション、訪問看護リハビリステーションひまわり伊奈、桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーション、訪問看護ステーションみやび、コスモ訪問看護リハビリステーション蓮田

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 A 病棟	3 2 床	急性期	10.0 日	73.0%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 B 病棟	3 7 床	急性期	20.3 日	81.0%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3 F 病棟	4 2 床	急性期	17.8 日	81.7%
	一般	入院基本料 ・特定入院料	急性期一般入院料 1、 地域包括ケア入院医療管理料 2	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 C 病棟	4 0 床	慢性期	220.8 日	99.5%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院料 1	
診療科				
内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科				
診療実績<2018 年度実績>				
○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日平均外来患者数：521.4 人 ・ 1 日平均入院患者数（急性期一般病棟）：76.4 人 （地域包括ケア 11.1 人、療養病棟 39.8 人） ・ 手術件数：1132 件（予定 84.6%、予定外 15.4%） <ul style="list-style-type: none"> （ 診療科構成比 整形外科 900 件 79.5% 外科 211 件 18.6% その他 21 件 1.9% 悪性腫瘍に係る手術件数（再掲）：49 件 4.3% ・ 救急搬送受入件数：969 件 救急隊内訳 伊奈 40.4%、上尾 34.1%、その他 25.5% ・ 救急搬送後入院患者数：343 件 <ul style="list-style-type: none"> （ 診療科構成比 整形外科 143 件 41.7% 内科 99 件 28.9% 外科 78 件 22.7% その他 23 件 6.7% ・ 救急搬送患者入院率：35.4% ・ 医療資源を最も投入した傷病名が悪性腫瘍の退院患者数：126 件 ・ 医療資源を最も投入した傷病名が脳卒中の退院患者数：75 件 				

○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）

- ・各病棟に専任の社会福祉士を配置、退院支援専従看護師を配置
（入院時支援加算（入退院支援加算）の施設基準取得、算定率 40%）
- ・入退院支援科介入患者数 1,122 件／新入院患者数 1,877 件：介入率 60%
- ・在宅復帰率
 - 急性期一般 97.1%
 - 地域包括ケア 95.2%
 - 療養 75.0%
- ・疾患別リハビリ提供数（2018 年度月平均単位数）（外来・入院含む）

脳血管リハビリテーション料	1,753 単位/月
運動器リハビリテーション料	6,147 単位/月
廃用症候群リハビリテーション料	1,635 単位/月
- ・患者 1 人 1 日あたりリハビリ提供平均単位数
 - 急性期一般 3.4 単位
 - 地域包括ケア 3.7 単位
 - 療養 3.2 単位
- ・リハビリ早期加算算定率：62.0%
- ・退院時のリハビリ指導料実施率：98.1%
- ・退院前訪問指導料（家屋調査件数）：29 件
- ・入院栄養指導件数：534 件
- ・退院時薬剤指導料：1,627 件

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	2019年4月1日現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	22	50	9.27	6		
看護師	121	34	23.2	20		
その他	200	28	11.8	29		
計	343	112	44.27	55		

確保状況・確保策、確保スケジュール

（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）

当院の2018年度離職率は5.8%、19名の離職が発生しており、継続して欠員分の補充を行う。さらに新築移転までに医師6名を含む55名の増員を移転3年前より計画的に行っていく。2018年度より医療系学生に当院の認知度を高めるため、学校訪問や就職セミナーへの参加を強化するとともに、病院実習の受入れを拡大していく。また、広報を強化し、当院のことをより知ってもらうための情報発信を強力に進めていく。なお、各職種の採用スケジュールは以下のとおり計画する。

【医師】採用数 6名

- ▶医師紹介会社を活用して整形外科医師1名が2020年4月に採用決定。
 - ▶帝京大学整形外科より、整形外科医師1名が2020年4月に入職予定（調整中）。
 - ▶ほか4名については、人材紹介会社を活用し、2022年4月までに採用予定。
- 現時点でも継続募集を行っている。特に移転予定の2022年時点で、現状から6名の増員を計画。人材紹介会社の活用や各大学病院の医局訪問を行い、採用を強化するほか、当院に在籍中の常勤医師の知人、友人のスカウトを進めており、これにより、皮膚科常勤医師1名が2018年12月、耳鼻咽喉科非常勤医師1名が2019年4月に入職。

年度	採用人数	診療科
2020年度	3	整形外科・脳神経外科
2021年度	1	内科
2022年度	2	整形外科・内科

【看護師】採用数 20名（2020年度8名、2021年度6名、2022年度6名）

- ▶2018年11月フルタイム非常勤1名、中途入職。
 - ▶2019年1月常勤1名、中途入職。
 - ▶2019年4月常勤1名、中途入職。新卒採用8名。
 - ▶2022年4月までに上尾中央看護専門学校他から20名新卒採用予定。
- 毎年5名程の新卒採用枠を今年度から拡大した。グループ内の看護学校からの採用のほか、各看護学校への訪問も行い採用を進める。退職時の補充は人材紹介会社やホームページでの募集。看護学生の病院実習は、3校、170名を受け入れていく。

※平成 30 年度実習受入実績：上尾医師会看護専門学校 37 名、桶川伊奈地区北本准看護学校 67 名、上尾中央看護専門学校 41 名

【薬剤師】採用数 2 名（2021 年度 1 名、2022 年度 1 名）

▶2019 年 4 月、新卒採用 2 名。

▶2 名は病院実習を受入れている学校から 2022 年 4 月までに採用予定。

移転 2 年前より新卒採用していく。ただし、退職などがあれば、中途の採用も行ない、必要人員数を確保する。薬剤師募集について、各学校への訪問やセミナー参加、人材紹介会社を利用。薬学生の病院実習は、2 校 4 名を受け入れていく。

※平成 30 年度実習受入実績：帝京大学 2 名、帝京平成大学 2 名

【看護補助】採用数 5 名（2020 年度 2 名、2021 年度 2 名、2022 年度 1 名）

ホームページや求人サイト、ハローワークへ求人掲載し、採用活動を行っていく。また、看護補助者研修の様子などを広報し、この職種への関心を持ってもらえるように活動が見える形にしていく。

【管理栄養士】採用数 1 名（2021 年度 1 名）

▶2022 年 4 月までに病院実習を受入れている学校から 1 名を採用予定。

学校訪問や求人サイトへの掲載を行い、新人管理栄養士を採用する。

実習生受入目標は、1 校、3 名。

※平成 30 年度実習受入実績：人間科学総合大学 1 名

【リハビリテーション】

採用数 PT8 名・OT3 名・ST3 名（2020 年度 8 名、2021 年度 3 名、2022 年度 3 名）

▶2019 年 4 月、PT1 名中途採用。PT1 名、OT3 名新卒採用。

▶2022 年 4 月までに病院実習を受入れている学校から PT8 名・OT3 名・ST3 名を採用予定。早期退院、在宅復帰に欠かせないリハビリテーションを適時適切に提供できる体制を維持するには、増床に伴い増員が必要となるため、移転 3 年前から採用人数を増枠する。新卒職員の採用には、グループ内セラピスト養成校の奨学金制度を活用するほか、各養成校へ訪問し、当院の紹介をするなどして採用を強化していく。

実習生受入目標は、9 校、PT20 名、OT15 名、ST3 名。

※平成 30 年度実習受入実績：埼玉県立大学 1 名、埼玉医科大学 1 名、日本リハビリテーション専門学校 3 名、首都医校 1 名、上尾中央医療専門学校 20 名

【医師事務作業補助者】

採用数 4 名（2020 年度 2 名、2021 年度 1 名、2022 年度 1 名）

▶2018 年 11 月、1 名中途採用。

▶2019 年 4 月、2 名新卒採用。

▶2022 年 4 月までに病院実習を受入れている学校から 4 名を採用予定。

現段階でも中途を含め採用を行っているが、特に移転時には 6 名の医師増員を予定しているため、医師事務作業補助者の教育や業務内容をふまえ、新人事務職の採用を行

い、増員する。実習生受入目標（事務職）3校、8名。

※平成 30 年度実習受入実績：大宮医療秘書専門学校 1 名、大原医療秘書専門学校 4 名

【調理員】採用数 3 名（2020 年度 2 名、2021 年度 1 名）

▶2022 年 4 月までに 3 名を中途採用予定。

移転時の増床に伴い中途・新人調理師の採用を計画する。採用にあたり、ホームページや求人サイト、学校訪問や、紹介会社などを活用する。

8 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

- ・近隣には当院より高次の医療機関が多く、受け皿としての役割のウェートが大きくなりつつある。「リハビリ目的」「緩和目的」「退院調整目的」の入院相談・受入れが多く、他院で行き場に困ってしまうような方の依頼ケースも受け入れている為、その先の調整に行き詰ってしまう事が多々ある。
- ・近隣診療所や施設から高齢者の紹介患者が多く入院期間も遷延。元の状態まで改善できない方の場合、近隣施設等の再受入のハードルが高い。
- ・介護保険の認定調査結果が出るまでに時間がかかることにより、入院日数が延長してしまうことが困っている点。

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネジャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

- ・院内の退院支援看護師および MSW を介護連携の窓口としたことにより、ケアマネジャーとの連携、情報の共有などは非常に効率よく行なえており、在宅への移行はスムーズである。しかし、環境整備が困難な家庭の方（高齢独居、高齢介護等）の場合も少なくなく、難渋するケースが増えてきている。
- ・院内の療養病棟は概ね 5～6 名ほどの待機患者を抱えており、空床ができるとすぐに入棟となるため、1 年を通して満床の状態。退院支援体制を整備してきた結果、在宅復帰率は 2018 年度上期 40～50%であったが、下期には 70～80%となっている。

9 その他

○移転地の確保状況について

別紙参照

○資金調達の見通しについて

別紙参照